

オプティフォームに関する 注意事項

■火気に対する注意事項

オプティフォームは難燃剤を含有していますが、あくまで可燃物ですので、保管や施工時を含め火気には十分にご注意ください。

■紫外線注意

オプティフォームは、長時間直射日光に当たると劣化の原因となりますので、野外保管の場合は直射日光を避ける為、養生シートで覆うようにし、施工後も速やかに仕上げ施工を行ってください。

■有機溶剤に注意

オプティフォームは、アルコール系以外の有機溶剤・石油類には侵されますので、使用する接着剤・塗料の選択及び使用方法については事前にそれらメーカーにお問い合わせください。

■オプティフォームは使用温度は70℃以下です。70℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用は避けて下さい。

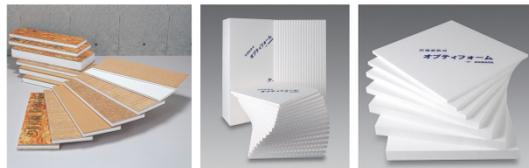
■オプティフォームは、軽量で取り扱いが容易な反面、風にあおられやすいので、強風下での作業は行わないでください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。

※その他、オプティフォーム断熱材使用に関して詳細は、弊社にお問い合わせご相談ください。

オプティフォーム断熱材の 2次加工品

オプティフォーム断熱材は様々な表面材（ベニヤ、石膏ボードなど）を貼り合わせ一体化することが可能です。各種市販の表面材の厚みに応じて貼り合せ致しますので弊社にお問い合わせご相談下さい。

尚、オプティフォーム断熱材にスリット加工なども可能ですのでお問い合わせ下さい。



「日本のシロアリ分布図」

- 家屋に被害を与える日本の代表的なシロアリはヤマトシロアリとイエシロアリです。この2種は北海道北部と高山を除いた日本全国に生息しています。
- 寒冷地でもシロアリ被害が報告されるようになったのは「地球温暖化現象」によるのかもしれませんが。



- ヤマトシロアリ生息地域
- イエ・ヤマト混生地域
- イエシロアリ分布北限
- — ダイコクシロアリ分布北限
- アメリカカンザイシロアリ発見地

参考文献「社会法人 日本シロアリ対策協会より」

Expanded Polystyrene

優れた防蟻性能を生み出す

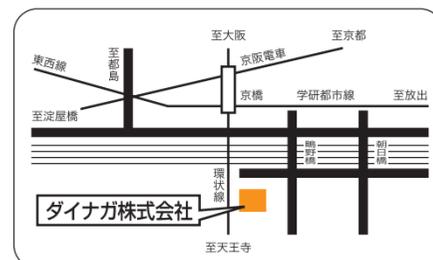
オプティフォーム®

防蟻断熱材



DN **ダイナガ株式会社**
DAINAGA CORK CO.,LTD.

●本社・工場 〒536-0014 大阪市城東区嶋野西1丁目2番7号 TEL 06 (6962) 1551 FAX 06 (6961) 3631
●東京営業所 〒104-0045 東京都中央区築地2-10-5 寿ビル TEL 03 (3541) 0702 FAX 03 (3541) 0899
●名古屋営業所 〒451-0041 名古屋西区堀下1丁目13番16号 小川屋ビル TEL 052 (565) 1569 FAX 052 (565) 1584
URL <http://www.dainaga-kk.co.jp>



DN **ダイナガ株式会社**



「発泡スチロール」のパイオニアが送る

シロアリの食害を抑制する

有効成分はチアメトキサムであり劇物や毒物ではありません

防蟻断熱材(EPS) オプティフォーム®

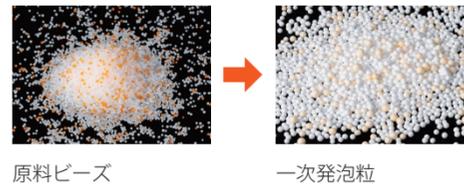
※®マークはシンジェンタ社の登録商標です。

公益社団法人 日本木材保存協会認定製品 認定番号：C-4041

オプティフォームの7つの特長

特長1 防蟻性能にすぐれている

オプティフォームは発泡粒子一粒毎にチアメトキサムが塗布されており、断熱材自体にシロアリの食害を防ぐ効果を持たせています。これにより断熱材がシロアリの蟻道やコロニーになったりする可能性がほとんどありません。薬剤を吸水性の低い断熱材に混入していることで、薬剤の流出、拡散がほとんどありません。

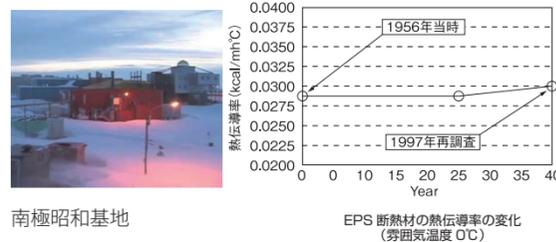


原料ビーズ

一次発泡粒

特長2 断熱性能が変わらない

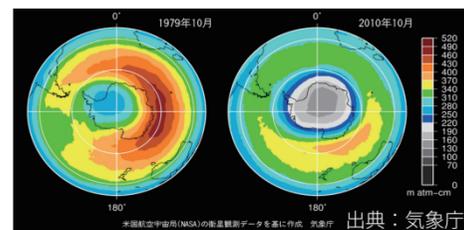
オプティフォームは、フェノールフォームやウレタンフォームと異なり、ほとんど吸水しないため、断熱性能がほとんど変化しません。これについては昭和31年に建設された南極昭和基地で使用されたビーズ法ポリスチレンフォームのデータでも証明されています。また、防蟻剤(チアメトキサム)の揮発性は非常に低いので、効果は半永久的です。



南極昭和基地

特長3 環境に優しい

オプティフォームは、炭化水素系発泡剤を使用して発泡成形される発泡プラスチックです。発泡成形後のEPSは、気泡の内部が空気に置換されて安定します。気泡内部が空気であるため、代替フロンなどを使用する断熱材に比べて、熱伝導率はやや大きくなりますが、オゾン層を破壊せず、地球温暖化係数が小さいとされている発泡剤を使用する、環境保全に配慮した発泡プラスチック断熱材です。



出典：気象庁

特長4 ホルムアルデヒド 等級 F★★★★

オプティフォームはシックハウス指定物質(VOC)の発生も不快な異臭もありません。原因の一つであるホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆です。

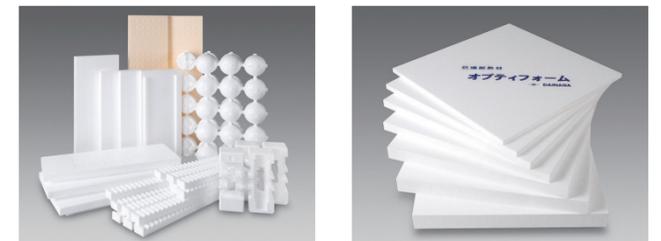


特長5 施工性

丸ノコ、カッター、のこぎり等での加工が可能で簡単です。

特長6 安定した品質と供給

当社、生産工場であるダイナ化成株式会社(滋賀)は、ISO9001を認証取得した工場にて、常に厳しい品質管理体制のもとで製造されていますので、常に安定した製品をお届け致します。



特長7 金型による成形も可能

オプティフォームは一般的に言われる発泡スチロール(ビーズ法ポリスチレンフォーム)と同様に金型による成形や一般的加工も出来るという特長を持っています。※金型による成形に御関心のある方は当社、営業担当にお問い合わせ下さい。

オプティフォーム断熱材の一般物性

項目	種類	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板 ※1					オプティフォーム断熱材 ※2		
		特号品	1号	2号	3号	4号	特号品	3号品	4号品
記号 (JIS A 9511)	EPS-B-特	EPS-B-1	EPS-B-2	EPS-B-3	EPS-B-4	—	—	—	
密度	kg/m ³	27以上	30以上	25以上	20以上	15以上	28.3	20.2	16.0
熱伝導率	W/(m・K)	0.034以下	0.036以下	0.037以下	0.040以下	0.043以下	0.0335	0.0364	0.0394
性能区分		D		C			B		
曲げ強さ	N/cm ²	35以上	45以上	30以上	22以上	15以上	45.9	32.1	23.2
圧縮強さ	N/cm ²	14以上	16以上	12以上	8以上	5以上	20.0	14.2	10.4
吸水量	g/100cm ³	1以下					1.5以下		
燃焼性	※3	3秒以内で炎が消えて残じんがなく燃焼限界指示線を超えて燃焼しないこと					合格		
透湿係数 (25mm)	ng/(m ² ・s・Pa)	185以下	145以下	205以下	250以下	290以下	74.2	106.9	124.6

※1. 上記の密度、熱伝導率、曲げ強さ、圧縮強さ、吸水量、透湿係数の各物性値はJIS値(JIS A 9511)です。
 ※2. 上記、オプティフォーム断熱材数値は測定値の一例であり保証値ではありません。
 ※3. 『火気に対する注意事項』を御確認下さい。

オプティフォーム断熱材の製品規格

単位：mm

品番	特号品				3号品				4号品				
	400	500	600	900	400	500	600	900	400	500	600	900	
サイズ	920 × 1830	○	※2	—	—	○	※2	—	—	○	※2	—	—
	1020 × 2030	—	※2	—	—	—	※2	—	—	—	※2	—	—
	920 × 2420	—	—	※2	—	—	—	※2	—	—	—	※2	—
	920 × 2720	—	—	※2	—	—	—	※2	—	—	—	※2	—
	920 × 3020	—	—	※2	—	—	—	※2	—	—	—	※2	—
	620 × 2420	—	—	—	※2	—	—	—	※2	—	—	—	※2
	620 × 2720	—	—	—	※2	—	—	—	※2	—	—	—	※2
	620 × 3020	—	—	—	※2	—	—	—	※2	—	—	—	※2

※1. 厚みは1mm単位でスライス加工が可能です。
 ※2. 受注生産対応で各種サイズブロックを御対応いたしますので別途ご相談下さい。
 ※3. 上記以外の寸法についてはご相談下さい。(プレカット加工可能)